

リコデ[®]SP錠

第②類医薬品

成分及び分量（9錠中）

アセトアミノフェン900mg、ジヒドロコデインリン酸塩24mg、d l -メチルエフェドリン塩酸塩54mg、クロルフェニラミンマレイン酸塩7.5mg、無水カフェイン90mg、ベンフォチアミン25mg、リボフラビン12mg、ヘスペリジン90mg

添加物：乳糖水和物、パレイシヨテンブン、セルロース、リン酸水素Ca水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、タルク、ステアリン酸Mg

用法及び用量

大人（15歳以上）1回3錠、12歳以上15歳未満1回2錠 1日3回食後なるべく30分以内に服用する。(1)用法・用量を厳守すること。(2)小児に服用させる場合には保護者の指導監督のもとに服用させること。(3)12歳未満の小児は服用しないこと。

効能又は効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

保管及び取り扱い上の注意

(1)服用に際しては使用上の注意をよく読むこと。(2)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。(3)小児の手の届かない所に保管すること。(4)誤用を避け、品質を保持するために他の容器に入れ替えないこと。(5)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し2日以内に服用すること。(6)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

電話：06-6352-2381

受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）



発売元 **ゼンソ** 薬品工業株式会社 大阪市北区天満3丁目6番1号

製造販売元 **ゼンソ** 薬工粉河株式会社 和歌山県紀の川市粉河840番地

⚠️〈使用上の注意〉

⊗ してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3)12歳未満の小児。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）。
3. 服用後は乗物等の運転をしないこと（眠気等があらわれることがある）。
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること。
5. 服用前後は飲酒しないこと。6. 長期連用しないこと。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)高齢者。(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5)次の症状のある人。高熱、排尿困難(6)次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	泌 尿 器	排尿困難
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下
精神神経系	めまい		

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合には直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。便秘、口のかわき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。